

福津から世界へ、世界から福津へ

# 世界遺産への道

## 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群

### 宗像大社中津宮

宗像大社中津宮は、宗像大社を構成する三宮の一つです。宗像三女神の次女である湍津なかつみや姫神たぎつが祀られています。本殿は17世紀前半頃の江戸時代に再建されたもので、県の指定有形文化財に指定されています。

中津宮は沖ノ島の宗像大社沖津宮おきつみやと深い関係を持ち、10月の「みあれ祭」では、三女神の長女である沖津宮の田心姫神たごりひめのかみが沖ノ島からいったん中津宮に迎えられ、湍津姫神いちしまひめのかみとともに本土の末妹である市杵島姫神へつみやを祀る宗像大社辺津宮へと向かいます。



## 届け私の思い

新原・奴山古墳群を世界遺産に！

今月はふくつ観光協会の関係者から話を聞きました。

### まちぐるみの応援を



高島 亮一 会長

市全体で世界遺産登録を応援しているという気運が少し足りないと感じることがあります。市内のあちこちで取り組んでいるという雰囲気をもっと出せれば、今以上に盛り上がるのではないかと思います。

### 古墳でコンサートを



竜口 直幸 副会長

世界遺産に登録されても、それがゴールではないと思います。登録後のピークが過ぎれば人が来なくなってしまう話も聞きますし、古墳でコンサートなどのイベントを継続的に行うことも一案だと思っています。

### わかりやすいストーリー展開で



中村 留美 事務局長

古墳の価値や沖ノ島との関係性など、一般の人にわかりにくい部分があると思います。例えば、この田園風景には古代から信仰が息づいている、というような今風のストーリーを加えるとわかりやすいのでは。

発行



福津市

〒811-3293 福岡県福津市中央1-1-1

☎42-1111 (代表)

編集

広報秘書課

印刷

久野印刷株式会社